

花と緑の情報をお届けします

take free

グリーン・スケッチ

Green Sketch

2011年 春号 No.46

contents

特集 公園で花や緑にふれあう ～公園サポーター、ボランティア活動紹介～

- 3 植物に親しむ 春の園芸作業のポイント
- 4 にいがた春の散歩道
- 5 花と緑のアドバイザーだより
- 6 読者の広場
- 7 緑花センター掲示板

第3回県立都市公園・植物園写真コンテスト 風景部門
入選「スプリング・フェスティバル」

「にいがた「緑」の百年物語に
参加しています。
<http://www.midori100.com>



財団
法人

新潟県都市緑花センター

公園

で花や緑にふれあう

公園サポーター、ボランティア活動紹介

当センターが管理運営を行っている県立都市公園では、周辺地域の皆さんをはじめとした県民の皆様にも公園で花や緑に親しんでもらう機会を提供し、一緒に公園をよりよいものに育てていこうという活動を行っています。今号では、その活動についてご紹介いたします。

公園サポーター活動やボランティア活動について

公園では、公園サポーター活動やボランティア活動を行っています。この活動は、県民の皆様から活動を通して植物とふれあう楽しさや知識を深め、公園や植物園への理解を深めていただくものです。



花苗植え付け



球根植え付け

各公園の活動

各公園で方法や内容は異なりますが、次のような内容で取り組んでいます。

スポーツ公園のサポーター活動

活動として、花壇づくりやハーブ花壇の管理、樹木剪定、樹名板の設置、開花調査などを行っており、主に春から秋の火曜日と木曜日の午前10時から12時に活動しています。

サポーターの募集は随時行っていますが、毎年5月頃に説明会を行っていますので、ご興味のある方はご参加ください。登録していただいた方には、前月に予定表をお送りし、都合の合う日に参加いただいています。

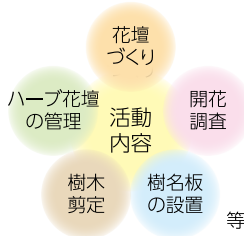
スポーツ公園ブログでは活動の様子を紹介しています。サポーターによる公園の魅力紹介もしていますので、こちらもぜひご覧ください。

県立紫雲寺記念公園のサポーター活動

公園内の温泉施設「紫雲の郷」の花壇で年3回程度、活動を行っています。春は、チューリップの花後の球根掘り取りと花苗の植え付け、秋はチューリップの球根の植え付けを行っています。公園のホームページや地域への催事案内チラシの配布など、ご案内しており、事前に申込みをいただければ各回ご参加いただけます。活動は大勢の皆様から参加していただけるよう、日曜日の午前10時から12時に行っています。

ご家族や地域のグループ、お一人の参加など様々で、いろんな世代の方々が集まります。地元の新発田市の方が中心ですが、新潟市などからの参加もあります。作業を行う中で、参加者が互いに協力しあい、自然と交流が図られています。毎回30名位の参加があります。

園内にはハーブやバラも植栽されており、今後は活動の幅を広げていく予定です。



剪定



ハーブ花壇の手入れ



樹名板設置

県立紫雲寺記念公園のサポーター活動

主な内容	活動時期
チューリップの花後の球根掘り取り	5月下旬
草花の植え付け	6月上旬
翌春に向けたチューリップの球根植え付け	10月下旬

植物園ボランティアの声

栽培管理ボランティア 宮島さん

植物園は何度か訪れていましたが、植物を眺めて楽しむくらいでした。ボランティア募集を知って、体を動かして気分転換にもなると思い、平成18年度から参加しました。

植え替えの時期やどの程度まで剪定しても大丈夫なのかを体験を通して学ぶことができました。植物調査では同じ木を1年通して観察し、いつ芽が動き出すのかといった植物のサイクルを知ることができました。これまで育てた事のない植物を育てたり、一般の人が入ることはできないバックヤードで活動を行うなど、いろんな体験をさせてもらっています。活動を通して、自分なりに植物園の仕事に少し貢献できたのではと思っています。

ボランティアにはいろんな人がいて、いろんなことを知っている人がいるので勉強になります。多趣味の方がいるので、仲間も増えました。楽しく活動しています。



栽培管理ボランティアの方々、副園長、インターンシップの学生とともに

公園サポーター・ボランティア活動に関する詳細はこちらをご覧ください
緑花センターホームページ

<http://www.greenery-niigata.or.jp>

平成23年度の募集については、各公園にお問い合わせください。

新潟県立植物園

TEL.0250-24-6465
<http://botanical.greenery-niigata.or.jp/>

新潟県スポーツ公園

TEL.025-286-1080
<http://www.niigata-sportspark.jp/>

県立紫雲寺記念公園

TEL.0254-41-3740
<http://shiunji.greenery-niigata.or.jp/>

公園は花や緑に親しんだり、ウォーキングやレクリエーションの場として多くの方から自由に利用していただいています。

今回ご紹介した活動は、普段の利用から一歩進んで地域や県民の皆様から公園の活動に参加していただきながら、花や緑にふれあい、植物等への知識を深め、有意義な時間を過ごしていただくものです。また、この活動を通して、参加者の皆さんや来園者の方々と、様々な方と交流するきっかけにさせていただきたいと思っております。

公園をご利用される皆様も、活動を見かけたら、お気軽に声をかけていただけたらと思います。

県立植物園ボランティア活動

活動内容は植物の栽培管理、園内植物・企画展示解説、植物標本の作製の3つの中からご希望の内容を選んでいただきます。

活動期間は植物の栽培管理ボランティアが4月から11月で、その他は通年行います。活動日は週2回程度(展示解説は土日、祝日も)、来られる日を事前に連絡していただき、季節や天候に合わせて作業を行っています。

栽培管理ボランティアは、エントランス花壇の手入れ、草花植栽、ポタンの花摘みや刈込み、冬囲いなどの活動を行っています。植物標本の作製ボランティアは、植物園で収集した植物の押し葉標本の作製と整理を中心に行っています。展示解説ボランティアは、温室の企画展や園地の展示解説を行います。企画展示については、担当職員の説明会を受け、来館者に解説を行っています。展示解説は土、日、祝日のほか、夜間開園時などにも活動しています。

平成22年度は、32名のボランティア登録があり、年々増加しています。ボランティアの方を対象に、副園長による植物解説会を月1回開催しています。また、植物の栽培管理ボランティアの活動が終了する11月に、懇親会を開催して交流を図っています。ボランティア登録は1年毎に更新しています。参加していただくには説明会(毎年3月)への出席と登録が必要です。健康で植物や自然環境に興味のある方ならどなたでも参加できます。平成23年度の新規募集については、植物園へお問い合わせください。



植物解説会



展示解説ボランティア



標本製作ボランティア



植物管理ボランティア

県立植物園ボランティア活動

	主な内容	活動期間
栽培管理ボランティア	エントランス花壇の手入れ、草花植栽、ポタンの花摘み・刈込み、冬囲い	4～11月
植物標本ボランティア	植物園で収集した植物の押し葉標本の作製と整理	4月～翌年3月
展示解説ボランティア	温室企画展や園地の展示解説	4月～翌年3月

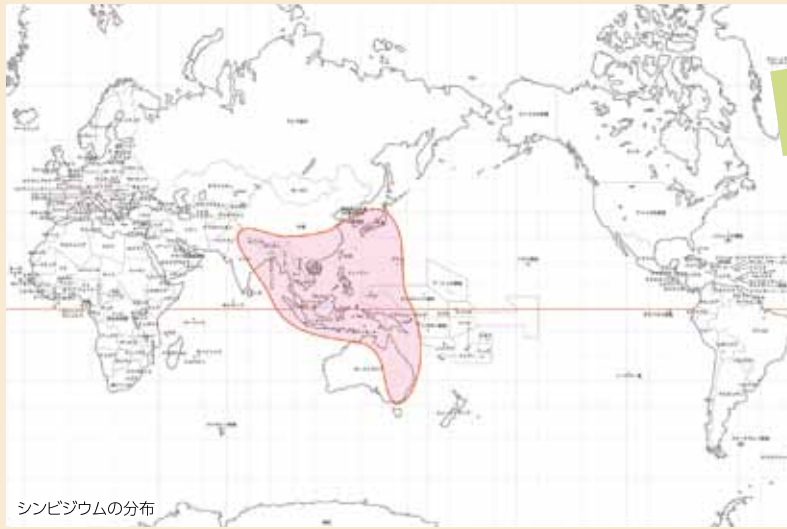


シンビジウム エリスラエウム '利休' ※



シンビジウム 'ゴールデンイエロー' ※

※中心の花弁(リップ)の模様は虫をおびき寄せ、受粉をさせるため花の中心へ誘導する働きをしている



シンビジウムの分布

シンビジウム

シンビジウムはミャンマーやタイの北部など熱帯地方でも雨季と乾季がはっきりしている比較的涼しい標高800~2,000mのところに分布しています。シンビジウムの多くは、地面に生えているのではなく、木の幹の空洞になったところや、枝分かれているところに生えています。

管理する場所

最低気温が10℃以上になる5月中旬から屋外で管理します。急に直射日光に当たると葉焼けを起こす場合があるので徐々に馴らしていきます。夏場は庭木の下など出来るだけ涼しく、風通しの良い場所におきます。場合によっては遮光をして葉焼けを防ぎます。



シンビジウム グレートフラワー 'バレリーナ'

この原産地の気候を念頭におき、植物を理解することで花を咲かせることができます。

ポイントは、春から夏にかけて灌水や施肥を行いしっかりと株を作り、秋には適度な寒さにあて休眠させ花芽を着けさせることです。

芽かき

4月から株の脇から新芽が出始めます。これをすべて育てると葉ばかり茂り、花芽が出来にくくなるため、芽かきを行います。芽かきは元の株の数だけ新芽を残すようにします。

植え替え

購入した鉢は根がまわり、株が鉢からはみ出しそうになっているものが多いようです。このような場合は、ひと回り大きめの鉢に植え替えが必要です。適期は3月下旬から4月、遅くとも5月いっぱいには完了させます。それ以降ですと、株が充実する期間が短くなり、花芽をつけにくくなります。植え替えは、2~3年に一度行います。毎年行くと株が充実しないで花芽をつけにくい原因にもなります。植え替え用土は、軽石、バーク等を混合したものを使用します。園芸店などに、「洋ランの培養土」、「シンビジウム用の培養土」などが販売されていますのでそれを利用してよいでしょう。

水やりと肥料

水やりの基本は鉢から水が流れ出るくらいたっぷりと行います。花が咲いているうちは、鉢が乾いてから行います。4月頃、新芽が伸び始めると根の活動も活発になりますので、頻度を多めにします。梅雨明け頃からは暑さと乾燥が激しくなるので、毎朝、行います。これを9月下旬まで続け、その後は乾かし気味に、鉢が乾いてから水やりをします。

肥料は固形肥料を5~7月上旬まで月1回程度施します。それ以降は、生育を止め、花芽を着けるため、施肥は控えます。

春の園芸作業のポイント

冬に室内を彩る洋ランの鉢物。シンビジウムの鉢をいただいたのだけど、管理方法が分からずに、なかなか花が咲かないことも多いのではないのでしょうか。ちょっとしたポイントをおさえれば翌年も花を楽しむことができます。今年はシンビジウムの管理にチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。

株の周りに土がなじむように棒などを使い新しい培養土をよくつつく。



洋ラン用の用土とひとまわり大きめの鉢を準備。



根がまわり鉢から株を引き抜きにくい場合はハンマーなどを利用して鉢から株を引き抜く。



植え替え完了。鉢から流れ出る水が濁らなくなるまで灌水する。





にいがた
春の散歩道

北方文化博物館のふじ

北方文化博物館

住所:新潟市江南区沢海2-15-25
開館時間:9:00~17:00(4月~11月)
9:00~16:30(12月~3月)
休館日:なし、年中無休
入館料:有料
大人800円、小中学生400円、
未就学児無料 ※小中学生は日曜日、祝日は無料
駐車場:無料
URL <http://hoppou-bunka.com>
問合せ先:財団法人北方文化博物館
TEL025-385-2001

交通アクセス

 車で
磐越自動車道 新津ICから車で約5分
 鉄道・バスで
JR新津駅からバスで約40分



今回ご紹介する場所は、新潟市の北方文化博物館のふじです。
北方文化博物館は、昭和21年に博物館設立の認可を受け、今年の2月12日に創立65周年を迎えました。
別名「豪農の館」と呼ばれています。江戸時代中期に、農から身を起こし、やがて豪農への道を歩み、代を重ねて巨万の富を築いた伊藤家のお屋敷が残されています。越後随一といわれた大地主の当時の暮らしぶりを見ることが出来ます。
敷地中心部の中庭に大藤棚があり、推定樹齢150年のフジの名木をみることが出来ます。開花期には棚一面に花が咲きほこり、甘い香りが漂います。花の見頃の5月中旬には、夜間ライトアップが行われています。
また、敷地内には京都・銀閣寺ゆかりの庭師により造られた回遊式庭園があります。庭園に面した大広間からの眺めは、新緑や紅葉などの美しい景色をゆったりと堪能することができます。

周辺のスポット 新潟市 新津鉄道資料館



新津地区は鉄道の町として知られています。この資料館では鉄道に関する様々な資料を保存、公開しています。

住所:新潟市秋葉区新津東町2-5-6 新津地域学園内
TEL:0250-24-5700
開館時間:9:30~16:30(入館16:00まで)
入館有料 ※土日祝日は中学生以下無料
休館日:月曜日及び12月28日~1月3日
(月曜日が祝日の時は火曜日)
駐車場有り



花と緑のアドバイザーだより

当センターの「花と緑のアドバイザー」の方々から
専門分野や緑化活動を通じて、
花と緑のまちづくりや県内の緑化等をテーマにお話を伺います。

花はなぜ美しいのか？

株式会社 本間造園

加藤 直人

長い冬が終わると、待ちかねた春が訪れます。我が家の庭でも毎年最初に花が咲くのはマンサクで、フロッカス、スイセン、アネモネ、ムスカリと次々に咲いてくれます。

でもその前に毎年話題になることと言えば、スギ花粉があります。雪が積もっている中でもスギの木は気温が上がれば開花し、大量の花粉を飛散させます。スギの樹の枝先にかたまつて花粉を撒き散らすのは雄花ですが、これが花かと思っただけで美しいといったものではありません。ケヤキやコナラの花を見たことがありますか？毎年見ているのかもしれませんが、目立たないので記憶に乏しいようです。目立つ花と目立たない花の違いは、花粉の媒介の仕方です。風で花粉をまき散らす風媒花はきれいになる必要がなく、もつと違つところに栄養をまわしているようです。では、ウメの花のいい香りやサクラの美しさは何のためでしょうか？決して人間を喜ばせるためだけではありません。ウメやサクラは虫媒花と呼ばれますが、花の



スギの雄花

周りで虫たちが忙しそうに飛び回っているのを見たことがありませんか？ミツバチやクマバチやマルハナバチなどの多くのハチ達のほかにハナアブや小さな甲虫、セリチョウやカタテハなどが、様々な花を訪れているのを見ることが出来ます。

1億4千万年前の中生代の白

亜紀の化石からはハチやアブやチョウたちの痕跡が見つかり、こうした花粉を食べたり蜜を吸ったりする虫たちの出現によって、花は風で花粉を飛ばすことから虫たちに運んでもらう選択肢を増やしました。風媒花



訪花するカタテハ

は自分の遺伝子をもつた子孫を増やすのに有利なように、大量に花粉を飛ばします。でも虫たちが運んでくれることで花粉を多く作るのではなく、少しでも多くの虫が訪れてくれることが大切になります。そのための戦略として虫媒花と呼ばれる植物の花は、虫に見つかりやすいように鮮やかな色の大きな花びらを持つたり、花蜜を蓄えたり、いい香りを発散する作戦を選びました。昆虫という虫達は4億年も前に出現し、海

に分化してきました。美しい花を訪れる花粉媒介者ポリネーターは昆虫に限らずメジロなどの小鳥も含まれますが、花の奥に蓄えられた花蜜を食べさせてもらう代わりに、体に付着した同じ種類の他の花の花粉を運んできて雌しべと接触することで、花が様々な遺伝子と出会う機会を増やしています。

でも面白いことに虫達の中にも不埒者がいるようです。狭い花の中にもべりこんで蜜を吸うのが面倒だったり口吻が届かなかつたりすると、花の横から蜜の部分をかじり花粉を雌しべに着けることなく蜜だけ飲んでしまつて盗蜜を行つクマバチなどもいます。

花達はきつと生懸命に盗蜜対策を考へていて近い将来、蜜の周辺をかじると苦い物質を出したりするのだろうか等と想像をめぐらすのも楽しいものです。

花と虫は様々な形で競い合つたり、誘いあったりしながら1億年以上の長い時間をかけて共に進化してきました。花の色や形は千差万別ですが、ポリネーターが少しでも有効に花粉を媒介してくれるように、これからも花たちは変化し続けていくことでしょう。

虫がたくさん訪れている花を見かけたら、そつと覗いて悠久の時間の中に溶け込んでみませんか。ちなみに訪花性のハナバチの仲間は大抵おとなしいので、触ったり、手で払つたりしなければ、めつたに刺されることはありません。



吸蜜するマルハナバチsp



加藤 直人氏
プロフィール

東京農業大学林学科卒業。新潟市内の造園会社に勤務し、これまで自然生態系維持工事などに携わる。花と緑のアドバイザーとして、新潟県スポーツ公園自然生態園でのトンボ観察会や阿賀町滝首湿原での夏休み自然観察会(湿原に生息する動植物と生態系)などの講師を務める。1級造園施工管理技士、1級土木施工管理技士、1級ビオトープ施工管理士。得意分野:自然環境(自然環境全般、生物、森林、その他(昆虫))、愛護団体・ボランティア(森林、自然)、その他(ビオトープ)

県内の

読者の広場

皆様からお寄せいただいた
情報誌の感想やおすすめの公園などを紹介します。



加茂市にある冬鳥越スキー場の
ロッジ付近に150種類くらい
のバラが見られます。無料で、気
軽に楽しめます。園内も広いです。
(アンケートハガキより
胎内市 田村さん)

comment

冬鳥越スキーガーデン
のバラ園には153種類、
2622株のバラがありま
す。6月から10月頃まで
いろいろどりのバラを
楽しめます。

この他、
45号で紹介した国宮越後丘陵公園(長岡市)、寺尾中央公園(新潟市)、
二宮邸(聖籠町)などの情報をお寄せいただきました。

旧岩室村のお杉ばら園で数百種
類のバラが楽しめます。入園無料
で5月下旬から11月末位までバラ
が見られます。ばら園から見る弥
彦山もとてもキレイですよ週末は
沢山の人で賑わっています。「ばら
園ガイド」(置いてあります)を片手
に観賞するのがおすすめです。

(アンケートハガキより
新潟市 阿部さん)

comment

こちらのばら園は新潟市西蒲区
石瀬にあります。660種類、四季
咲き大輪系を主に1350株が植え
られています。園内は5つのコー
ナーが設けられ、テーマ毎に楽し
めるように工夫されています。

県

立植物園の保全活動内
容に興味を持って読みま
した。とても良かったです。地域
と共に植物関連活動報告がわか
り、大切な認識だと思いました。
(アンケートハガキより
加茂市 遠藤さん)

新 潟県でも350種が絶滅危
惧植物に指定されていると
は知りませんでした。私共近くの
魚沼スカイラインでもレンゲツツ
ジを他県の方が採掘して持ち去り
今では花を見ることができません。
(アンケートハガキより
南魚沼市 佐藤さん)

comment

45号の特集で、県立植物園の絶滅危惧植
物の保全活動を紹介しました。新潟県は
自然豊かだといわれますが、身近な植物
は無くなりつつあります。地域の貴重な
植物を守るには、地元の方々に関心を
持っていただくことが大切です。正しい
知識と理解の上で保全を進めるため
にも県立植物園では、今後絶滅危惧植物
展を県内各地で開催していく予定です。

外 来種が路肩等に多くありますが、日本
古来の優しい野花が消えてなくなるの
は悲しい事です。そのようなことがないよう
グ
リーンスケッチを通じ、啓蒙していただき
(アンケートハガキより 新潟市 真柄さん)

教えて
ください!



新潟県内で動物と触れ合えるおすすめの公園を 教えてください!

皆さんがお気に入りの動物と触れ合える公園をご紹介します。
どんなところが良いのかその理由も添えて
綴じ込みハガキの④に記入して、お送りください。ファックスやEメールでも受付
しています。住所、氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せ下さい。
掲載にあたり趣旨は変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。
なお、掲載させていただいた方には粗品を進呈します!どしどしお寄せください。

●FAX.025-257-8766 ●e-mail center@greenery-niigata.or.jp
(添付形式にせずにお送りください)

締切:6月10日(消印有効)

庭

で木々を育てるの
が大好きです。子
供と共に楽しめるペー
ジがあると嬉しいです。
(アンケートハガキより
長岡市 田中さん)

初 めて読ませて
いただき、とても
勉強になりました。「花
と緑のアドバイザーだ
より」でビオトープに
ついて知ることが出来
て、貴誌に感謝します。
(アンケートハガキより
十日町市 村山さん)

comment

小さい時から
花や緑に触れ
る経験はとて
も大切だとい
われています。
お子さんと楽
しみながら花
や緑を育てて
いただけると
う、誌面に盛り
込んでいき
いと考えてい
ます。

45号『植物クイズ』 当選者発表

正解は②ナンキンハゼでした。
当選者は以下の方々です。
おめでとうございます。

- 本間 タエ子さん(新発田市)
- 古寺 スミ子さん(燕市)
- 小田 多摩江さん(村上市)
- 加藤 陽子さん(長岡市)
- 小林 君恵さん(三条市)



写真は何の花でしょう。花は、丸みのある壺のような
形が特徴です。葉や莖に毒性があり、牛や馬が食
べると酔ったようになるため、「馬酔木」と書きます。葉や莖
を食べない限り、接触しても人体には無害です。ツツジ科の
常緑樹で、花期は4月です。日当たりが悪い場所でも丈夫に育ちます。

- ①スズラン
- ②アセビ
- ③ドウダンツツジ

答えを綴じ込みのアンケートハガキ
に記入してご応募ください。正解者の中から
抽選で5名様に粗品を進呈します。

締切:6月10日(消印有効)

植物 クイズ

クイズの答えと当選者は次号に掲載します。

*記入いただいた個人情報は、感想等の掲載・当選者の発表と景品の発送、および今後の誌面づくりの
参考としてのみ利用します。



園内の様子

公園 news

公園からのお知らせなどをご紹介します。
募集告知については、各公園事務所へ直接お問い合わせ、申し込みください。

新潟県スポーツ公園 新潟市中央区清五郎地内

にいがたカナル彩が開催されます

「新潟県都市緑花フェア」と「スプリングフェスティバル」の合同イベント「にいがたカナル彩」が開催されます。園内では4月下旬頃にチューリップが開花予定です。イベントとともに、春の花々もお楽しみください。

- 開催日時:平成23年4月29日(金・祝) 9:00~19:00
- 会場:新潟県スポーツ公園カナル周辺
- 内容:ステージイベント、体験教室、フリーマーケット、飲食コーナーなど

問合せ 新潟県スポーツ公園 TEL025-286-1080 <http://www.niigata-sportspark.jp/>

イベントに関するお問合せ

- 新潟県都市緑花フェア
TEL025-280-5440(県都市整備課)
- スプリングフェスティバル
TEL025-245-3020(新潟市駅南まつり協賛会)

県立紫雲寺記念公園 新発田市藤塚浜

オートキャンプ場のオープンをお知らせします!

4月16日(土)から今シーズンの営業を開始します。予約受付は4月1日から行います(予約方法は電話のみ。受付は利用日の2ヶ月前の月の1日からです。但し、4月~5月の利用は4月1日から受付)。皆様のご利用をお待ちしています。詳しくはホームページをご覧ください。

- 開催日時:平成23年4月16日(土)~10月10日(月・祝)
- 問合せ・申込み先:オートキャンプ場
TEL0254-41-1010(4月1日~10月10日 8:30~17:00)

問合せ 県立紫雲寺記念公園 TEL0254-41-3740
<http://shiunji.greenery-niigata.or.jp>



チューリップ花壇

チューリップ・フェアin紫雲寺を開催します!

公園全体で14万本のチューリップが植栽されています。チューリップの開花時期にあわせ、春のイベントを行います。体験教室や飲食コーナーなどを設置しますので皆様ぜひご来場ください。

- 開催日時:
平成23年4月29日(金・祝)
10:00~16:00
- 会場:県立紫雲寺記念公園
チューリップ広場

2010県立都市公園・まちなか緑花写真コンテスト入賞作品紹介

今回の写真コンテストは、2部門で142点の応募がありました。厳正な審査の結果、21点の作品が入賞されました。皆様ご応募ありがとうございました。ここに各部門の上位3賞を紹介します。なお、ホームページでも作品をご覧いただけます。2011年の写真コンテストについては、当センターホームページにてお知らせするほか、各公園などで要項を配布します。四季折々の花や緑のある風景を写真作品におさめて、ご応募ください。

●県立都市公園部門

賞	作品名	撮影場所	撮影者氏名 (敬称略)
県知事賞	乾いたかな?	県立紫雲寺記念公園	山森恵子
理事長賞	秋の気配	新潟県スポーツ公園	樋口ノリ
フジカラー賞	のぼれたかな	県立植物園	小林正義



県立都市公園部門 県知事賞「乾いたかな?」山森恵子



県立都市公園部門 理事長賞「秋の気配」樋口ノリ



県立都市公園部門 フジカラー賞
「のぼれたかな」小林正義

●まちなかの緑花部門

賞	作品名	撮影場所	撮影者氏名 (敬称略)
県知事賞	緑花の街角	新潟市西区大野町	池田友好
理事長賞	朝日をうけて	新潟市中央区新潟駅南口	山森 尚
フジカラー賞	花園	長岡市千歳 千秋が渡るさとの森	古川久雄



まちなかの緑花部門 県知事賞
「緑花の街角」池田友好



まちなかの緑花部門 理事長賞
「朝日をうけて」山森尚



まちなかの緑花部門 新潟フジカラー賞
「花園」古川久雄

緑花センター お知らせ

事務局からの お知らせ

当センターは、県、市町村からの出えん金と県民の皆様から頂いた寄付金を「基本財産」とし、これを運用した果実(運用益)により、様々な都市緑化事業を展開しています。グリーンスケッチはその事業の1つで年2回発行しています。

県関係機関、各市町村、主な図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡下さい。